

一七. 筏のほい

解説

明治四十年（一九〇七）十月五日、明治天皇の生母中山慶子薨去の際の新聞記事と訃報（葬儀通知）に始まり、ご会葬御礼・危篤と訃報の電報・五十日祭の蒸物料送状・故中山慶子の御真影や形見分けの贈状、新聞記者の名刺などを張り込み帳に仕立て、「筏のほい」という題を表紙に付けたもの。冒頭に貼られた新聞記事には以下のように記されており、これらの記事により、中山慶子の人となりや福富喜満子との関わりなどを詳しく知ることが出来る。